



・挨拶をする辻村哲夫
財団常務理事
(写真右)



・講演をする藤沢章彦
財団理事 (写真左)

ONKAN 第12回「新・冬の勉強会」レポート

よりよい授業を求めて

～指導と評価のポイント～

教員免許状更新講習（選択12時間）認定

- 昨年の12月27日、28日の2日間にわたって、国立青少年オリンピックセンターを会場に行われました。年末の押し迫ったときにも関わらず、多くの先生方にご参加いただきありがとうございました。

12月27日（土）

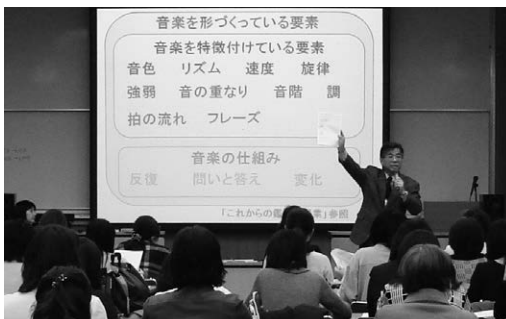
1. 講演「よりよい授業を求めて」〔写真右上〕
藤沢章彦（文教大学講師・財団理事）

2. シンポジウム〔写真上〕
「評価を切り口に鑑賞の授業を考える」
館 雅之（神奈川県横浜市立高田東小学校副校長）
吉川武彦（福島県教育庁指導主事）
安部文江（信州大学教育学部附属松本中学校教諭）
萬 司（北海道札幌市立柏丘中学校教諭）
助言：臼井 学（文部科学省教科調査官）



▲グループで意見交換

- ・現状の分析（事前調査などから）
- ・課題の解決に向けて（チェック＆フォローアップの考え方、具体的な楽曲分析など）
- ・鑑賞指導のこれから



3. ワークショップ「鑑賞の学習評価と授業改善」
小学校分科会〔写真左〕

石井ゆきこ（東京都荒川区立尾久第六小学校主任教諭）
江田 司（和歌山大学教育学部附属小学校教諭）

中学校分科会〔写真上〕

勝山幸子（東京都港区立六本木中学校主任教諭）
長者久保希史子（青森県八戸市立三条委中学校教諭）

- ・〔共通事項〕を窓口にした楽曲分析の実際
- ・授業場面における評価と支援（チェック＆フォローアップ）の工夫の検討

12月28日(日)

4. 提案「音楽科でのICT活用を考える ～『これからの鑑賞の授業2』をもとに」〔写真下〕

河崎秋彦（茨城県つくば市立二の宮小学校教諭）

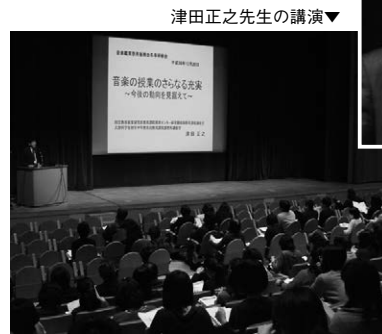
萬 司（北海道札幌市立柏丘中学校教諭）

林田壮平（音鑑事務局主査ICT担当）

- ・教育の情報化と音鑑の取り組み
- ・小学校・中学校の事例紹介
- ・ICT活用のポイント・留意点



▲ICTを活用した事例紹介



津田正之先生の講演▼



5. 講演「音楽の授業のさらなる充実

～今後の動向を見据えて」〔写真上〕

津田正之（文部科学省教科調査官）

6. 音楽講座「音楽の地域性

～アジアの音楽文化に触れる」〔写真下〕

横井雅子（国立音楽大学教授）

国立音楽大学バリ・ガムラン研究会

- ・東アジアという地域：特徴、音楽文化
- ・東南アジアという地域：特徴、東アジアとの違い

◆アンケートから◆

- ・評価について意見交換できたのがよかった。
- ・フォローアップの考え方が必要だと分かった。
- ・ICTを活用してみようと思った。
- ・授業を想定して、授業の組み立て方や支援が必要な児童への具体的な手立てなど学ぶことができ、大変充実した内容でした。
- ・日頃触れることのできないガムランの本物の音と踊りを鑑賞できてよかった。

▲ガムラン
体験コーナー横井雅子先生から
パリス役に質問▶

▼バリ・ガムランの演奏「パニャンプラマ」



●平成27年度は、12月26日(土)～27日(日)に行います。10月中旬から募集を開始します。是非ご参加ください。